

県内五飛行場の新発見米軍撮影写真について

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

1 新発見米軍撮影写真の概要

(1) 発見の経緯

- 2018年3月末～4月28日、渡米しての国立公文書館（National Archives II：メリーランド州カレッジパーク）での資料調査による。
- 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議事務局長「工藤洋三氏」による発見。

(2) 撮影内容と撮影概要

- 「1945年7月27日撮影ロール内（全151枚・垂直方向の撮影で“K-17”カメラによるものと想定）」に鹿児島県知覧飛行場等とともに「熊本県内五飛行場（玉名・菊池・黒石原・隈庄・人吉）計52枚」を確認できた。
- 各飛行場内の1枚は、館内高解像度判スキャナーによりネガをスキャン。その他はカメラによりデジタル撮影。

ア 陸軍玉名飛行場（計10枚）

東側野部田地区から進入し、飛行場上空を旋回しながら撮影。雲がたなびく中、低位置である飛行場南・西側への土砂盛土の様子、横島山への排水路が見て取れる。北東側管理区画は5/13爆撃により格納庫・兵舎等が破損し、爆弾穴は放置されており、飛行場機能がマヒした様に見せているが、本土決戦に向け掩体壕設置等は東側で行われている。

イ 陸軍菊池飛行場（計9枚）

東側鞍岳側より進入し飛行場全体、管理区画側、国道西側の通信教育隊側を撮影。3月以降4回に及ぶ空襲により、格納庫屋根は大きくめくりあがり、鉄筋も露出して、掩体壕には破壊された機体が放置されたままである。大刀洗航空廠菊池分廠は、飛熊地区の地下工場で稼働し、米軍の航空機修理・整備体制が進められている。

ウ 陸軍黒石原飛行場（計16枚）

この日撮影の県内飛行場では最も撮影枚数が多い。南側の西部軍教育隊・黒石原演習場を撮影し、菊池恵楓園、陸軍傷痍軍人療養所再春荘と建物を中心に撮影した様子にも見える。陸軍が飛行場用地として拡張したゴルフ場跡地、恵楓園北東側の様子も観察できる。既にこの段階で、待機の中等練習機編成による特攻隊「第九四振武隊」12機が配備済み。

エ 隈庄飛行場（計8枚）

飛行場全容と現城南病院周辺の管理区画が明瞭に観察でき、格納庫等の撤去状況、北側の沖縄攻撃を行った第百十戦隊「飛龍」用無蓋掩体壕も明瞭に見える。陸軍上等兵で気象班配備の世界的俳優・三船敏郎が勤務した本部棟建物は、攻撃をまぬがれ健在である。

オ 海軍人吉飛行場（計9枚）

大きく蛇行する球磨川右岸の高ん原大地に広がる人吉基地の全容が明瞭に観察できる。県内飛行場で唯一コンクリート舗装された滑走路は、まだ模様対空迷彩が施され、周辺部には無蓋掩体壕群が観察できる。この段階では基地機能は完全に地下に移され、第二海軍工廠の隧道が多数掘られ本土決戦準備の為の地下工場化、佐世保鎮守府による決戦資材等の備蓄倉庫化が急速に進められている。

(3) 撮影部隊・用務令・機種

- 撮影部隊は、沖縄駐屯の米国極東航空軍第7航空軍第28写真偵察中隊「7AAF-28PR」、作戦用務令は「5M343」である。
- 第7航空軍は45年7月14日以降は、陸軍極東航空軍の隷下におかれ、第28写真偵察中隊は、4月ペリリュー島から沖縄に移駐。配備は読谷飛行場。
- 使用機は、「ロッキードP38ライトニング」改造の写真偵察機で、通称名「F-4」機もしくは「F-5」機。
- ロッキードP38ライトニングは、米陸軍で第二次世界大戦後半期に使用された双胴・双発・単座の高速戦闘機である。欧州戦線では、ドイツ本土爆撃に向かう戦略爆撃機の主力援護戦闘機として活躍



写真1 P38J型機（チノ航空ショーにて）

した。太平洋戦線では高速を生かした一撃離脱攻撃や後続距離の長さから山本五十六長官機の撃墜（海軍甲事件）に成功している。
○F-5は航続距離の長さや速度性能を生かし、欧州戦線で多く利用された偵察機であり、自由フランス軍使用機として『星の王子さま』作者のサンテグジュペリ死没時の乗機（GR II / 33所属機F-5B-1）としても著名である。

2 公開・説明等

（1）「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」展での一般公開

- 期間：2018（平成30年）8月11日（土）～8月26日（日）まで
- 会場：熊本市立図書館 2階ロビースペース 合計10枚
- 公開：玉名飛行場2枚、菊池・黒石原・隈庄・人吉飛行場は各1枚
P38写真偵察機「F-5A」（1945年7月29日、読谷飛行場にて）1枚
F5E機（読谷）、掲載カメラ、現存P38機飛行様子の各1枚

（2）くまもと戦跡ネットにより、8月11日（土）13時半からの上村真理子氏講演「空襲を語る絵本たち」終了後、図書館2階集会室で新発見・展示資料の説明予定。

3 歴史的価値

（1）1945年7月27日撮影資料の新発見

これまで県内飛行場に関する3月10・18日、5月7・13・14日の撮影資料は確認されていたが、敗戦間際7月期での米軍写真は新発見である。しかも沖縄駐屯の米国極東航空軍第7航空軍第28写真偵察中隊による52枚のまとまった発見である。

（2）敗戦間際で破壊された県内五飛行場の実相解明資料

11月本土決戦（九州上陸の米軍名・オリンピック作戦）に向け、米軍をあざむくため、空爆により破壊されままの日本側基地「放棄」状況が見て取れる。また、その背景として、潜伏・地下基地化した本土決戦準備状況が理解できる。



連絡先
□くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
HP URL <http://www.kumamoto-senseki.net/>



写真2 陸軍玉名飛行場（DSC7804）



写真3 陸軍菊池飛行場 (DSC7852)



写真4 陸軍黒石原飛行場 (DSC7715)



写真5 陸軍隈庄飛行場 (DSC7815)



写真6 海軍人吉飛行場 (DSC7780)

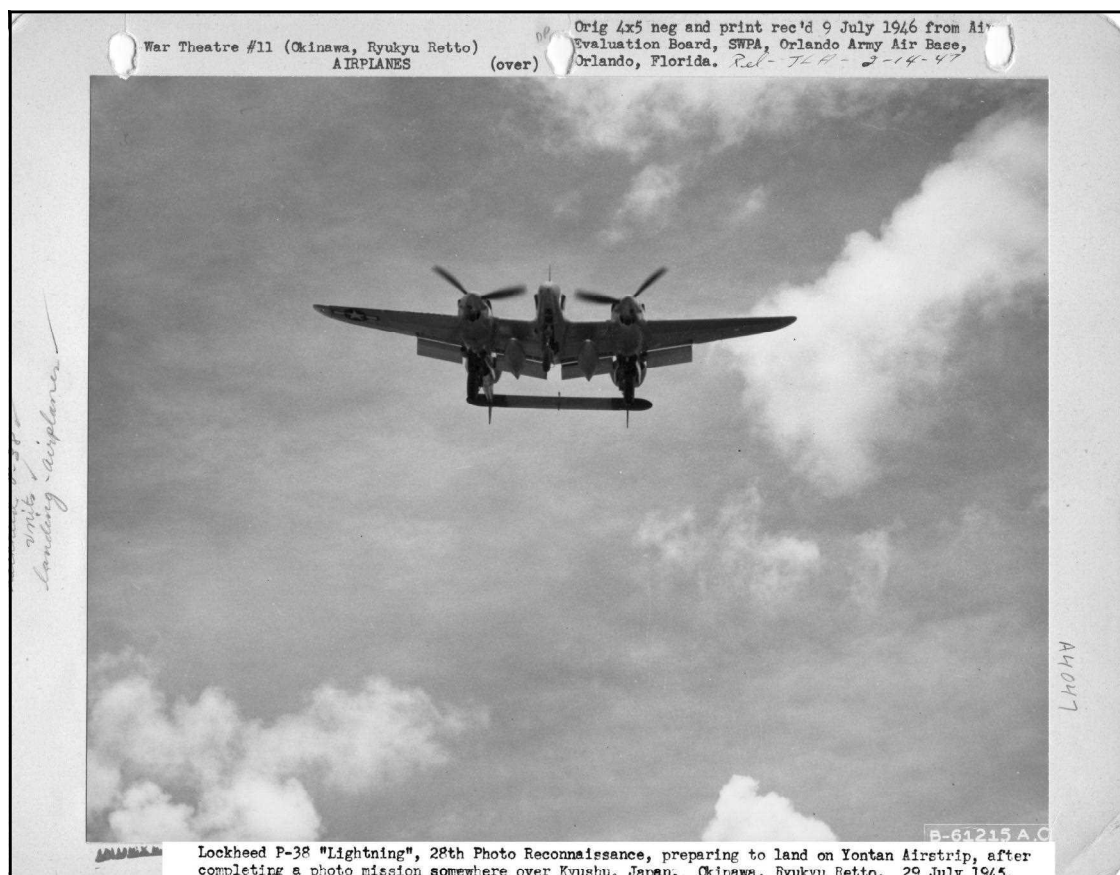


写真7 米国極東航空軍第7航空軍第28写真偵察中隊(7A AF-28PR)
部隊の「P38ライトニング・偵察機タイプ」・「F-5E」機
本機の撮影はLand標記やフラップ下げ状況から着陸時のものである。
機種型式は、機首上の無線用アンテナ、胴体下ループアンテナ、カメラ窓が下側に
方形形状2箇所を、側面2箇所やや張り出すフェアリングを附した「F5E」
型と判断される。P38偵察機型の中では、最も改造機が多く500機に達したと
いわれる。

1945年7月29日 読谷飛行場撮影

F-5E-2-LO & F-5E-3-LO



Above: The F-5E-2-LO and F-5E-3-LO could be distinguished from the earlier F-5B by the larger camera windows on the sides of the nose section. These windows were surrounded by a teardrop shaped fairing which was painted black on "Eyes of Texas." This F-5E was assigned to the 28th PRS. The large container on the left pylon had a plexiglass nose and carried a motion picture

photographer inside. This unusual device was used over Okinawa by the 28th PRS. (USAFM)

Below: This F-5E was one of several Lightnings given to the Chinese Air Force late in the war. Stripes on the vertical tails were medium blue and white. (USAFM)



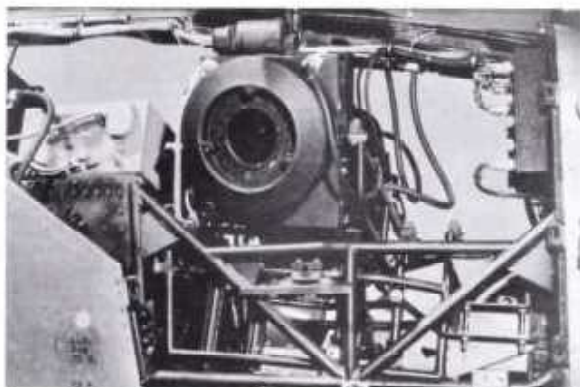
写真8 P38ライトニング・偵察機タイプ・F-5E-2機

第7航空軍第28写真偵察中隊

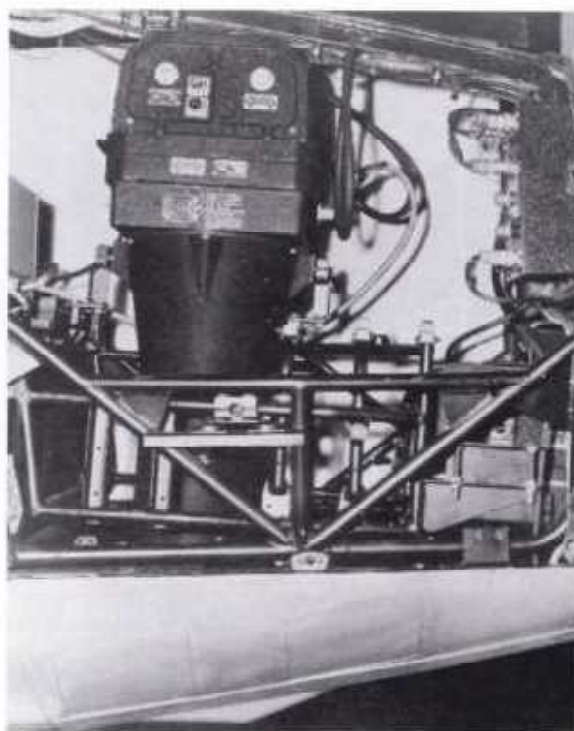
本機は、翼下に負傷者緊急輸送用の増槽改造ポットを利用して、前面のガラス窓越しに乗り込んだカメラマンが撮影できる「撮影ポット・Eyes Of Texas」を懸架している。

写真9 撮影ポット拡大・カメラマン乗り込み中の様子

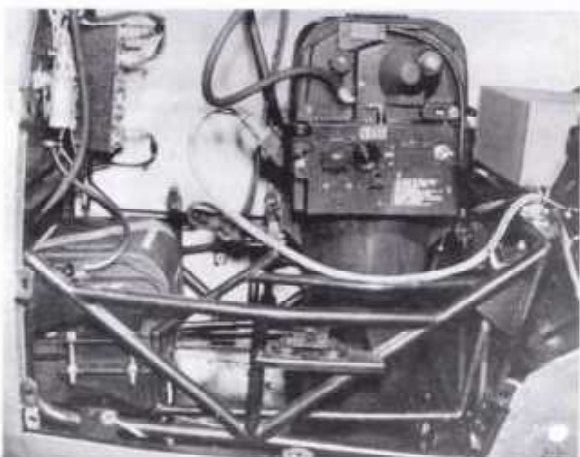
F-5E-4-LO CAMERA INSTALLATIONS



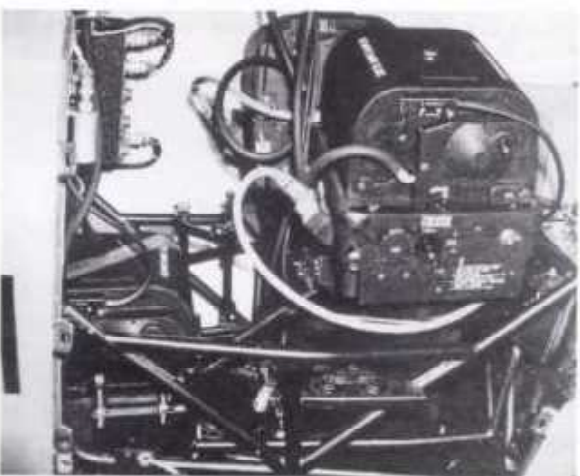
Different cameras were mounted depending on mission requirements. This is the right oblique tri-metrogon camera installation. (USAFM)



A large 40-inch K-22 vertical camera is installed to shoot through the aft window in this F-5E. (USAFM)



This camera installation includes a 6-inch K-17B and a 24-inch K-22. Both cameras are mounted to shoot vertically. (USAFM)



A vertical K-17B 6-inch camera and split vertical 24-inch K-22 cameras are installed in the bay of this F-5E-4-LO. (USAFM)



The windows for the vertical cameras are identified in this underside view of the nose. (USAFM)

写真10 P38ライトニング・偵察機タイプ・F-5E-4機 カメラシステム

F-5E-4LO CAMERA INSTALLATIONS」では、側面にK-22カメラを2台装備して斜下方向を撮影、垂直方向撮影には、K-17カメラ2台を装着している。

原書『P-38 LIGHTNING in detail & scale』より